

2022 八戸港

AOMORI ∩ HACHINOHE

青森県三八地域県民局地域整備部八戸港管理所



青森県基本計画

「選ばれる青森」への挑戦

支え合い、共に生きる



青森県三八地域県民局地域整備部 八戸港管理所

八戸市大字河原木字北沼1-131
(三八地域県民局みなと分庁舎 2階)

TEL (0178)21-2280
FAX (0178)21-2370

交通案内

港湾関係官公署及び関係団体等

フェリー

苫小牧－八戸(4便)……8時間
室蘭－八戸(1便)……7時間

高速道路

東京－八戸……7時間50分
仙台－八戸……3時間20分

飛行機

東京－三沢……1時間20分
大阪(伊丹)－三沢……1時間35分
札幌－三沢……1時間

鉄 道

(新幹線)
新青森－八戸……24分
東京－八戸……2時間50分
仙台－八戸……1時間20分
盛岡－八戸……30分

(在来線)
青森－八戸……1時間30分



フェリー埠頭地区

名 称	所 在 地	TEL(八戸0178)
国土交通省東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所	八戸市沼館四丁目3-19	22-9391(代)
国土交通省東北運輸局 青森運輸支局八戸海事事務所	八戸市築港街二丁目16	33-0718
国土交通省八戸海上保安部	〃	33-1222
財務省函館税関八戸税関支署	〃	33-0423
厚生労働省仙台検疫所八戸出張所	〃	(017)722-7687 (連絡先は青森出張所)
青森地方気象台 (八戸特別地域気象観測所)	青森市花園一丁目17-19 (八戸市大字湊町字館鼻67)	(017)741-7411
農林水産省横浜植物防疫所塩釜支所 八戸出張所	八戸市築港街二丁目16-1	33-5424
農林水産省動物検疫所 仙台空港出張所	宮城県名取市下増田字南原 (仙台空港ターミナルビル)	(022)383-2302
国立研究開発法人水産総合研究センター 東北区水産研究所八戸庁舎	八戸市大字鮫町字下盲久保25-259	33-1500
青森県県土整備部港湾空港課	青森市長島一丁目1-1	(017)734-9673
青森県三八地域県民局地域整備部	八戸市大字尻内町字鴨田7	27-5151(直)
青森県三八地域県民局地域整備部 八戸港管理所	八戸市大字河原木字北沼1-131 (三八地域県民局みなと分庁舎2F)	21-2280
青森県三八地域県民局地域農林水産部 八戸水産事務所	(〃 3F)	21-1185
青森県三八地域県民局地域農林水産部 三八地方漁港漁場整備事務所	(〃 3F)	21-1077
青森県水産総合研究センター 八戸漁業用海岸局	八戸市大字白銀町字三島下95	33-1535(代)
八戸警察署鮫警察官駐在所	八戸市大字鮫町字持越沢15-1	33-0237
八戸警察署水上警備派出所	八戸市豊洲3-10	47-1201
八戸市庁	八戸市内丸一丁目1-1	43-2111(代)
八戸港振興協会	八戸市堀端町2-3 (八戸商工会議所業務課内)	43-5111(代)
八戸港国際物流拠点化推進協議会	八戸市内丸一丁目1-1 (八戸市商工労働観光部商工課内)	43-9244

八戸港の概要

八戸港は青森県南東部の太平洋岸に位置し、明治時代までは鮫浦港と呼ばれ、漁港と避難港としての役割を果たしてきた。

昭和になると、商港として整備されはじめ、昭和 26 年に重要港湾の指定、昭和 39 年に「新産業都市」に指定されたのを契機として飛躍的な発展を遂げることとなる。

平成 6 年には東北初の東南アジアコンテナ定期航路が開設され、その後韓国、北米西岸の定期航路並びに横浜港との内航フィーダー航路も開設されたことから、平成 8 年に F A Z 法(時限立法により平成 18 年終了)による輸入促進地域(F A Z: Foreign Access Zone)の指定を受けた。

また、平成 13 年には八戸港多目的国際物流ターミナル等の施設が完成し、定期コンテナ航路については、中国・韓国航路、韓国航路及び東京港、横浜港との内航フィーダー航路(平成 21 年 6 月、京浜三港との連携に関する協定締結)が就航しており、北東北における国際物流拠点港としての重要性が高まっている。

平成 15 年には国土交通省により産業廃棄物やリサイクル関連などの循環資源輸送を担う静脈物流ネットワークの核となる「総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)」の指定を受け、循環型社会の形成を目指している。

平成 21 年 11 月には港湾計画を改訂し、北東北の国際物流拠点港として、国際海上輸送機能及びエネルギー供給機能を強化するための港湾整備を進めている。

平成 27 年 4 月には液化天然ガス(LNG)輸入基地「八戸 LNG ターミナル」(タンク 2 基、貯蔵量は計 28 万キロリットル)が操業した。

八戸港の歴史

年	記 事
寛文 4 年	(1664年)八戸藩創立、以後明治年間まで約250年間鮫浦港と呼ばれる。
文政 9 年	(1826年)白銀浜に防波堤が築造される。
明治14年	内務省、八戸港実測のため、オランダ人技師ローエン・ホルストムルテン派遣。翌年築港計画成る。
大正 8 年	鮫浦港の修築に着手。
昭和 3 年	内務省指定港湾となる。
昭和 4 年	八戸市制施行。
昭和 5 年	鮫港と湊港を統一し「八戸港」と改称。
昭和 7 年	商港第一期工事に着手。
昭和10年	第二種重要港湾に指定される。
昭和14年	商港第一期工事完成。貿易港として開港指定となる。
昭和26年	重要港湾に指定される。
昭和27年	出入国港に指定される。
昭和31年	河原木三角地帯の臨海工業用地完成。
昭和34年	検査港に指定される。
昭和39年	新産業都市に八戸地区が指定される。
昭和40年	木材輸入特定港に指定される。
昭和44年	穀物輸入特定港に指定される。
昭和45年	第二工業港一万五千トンふ頭供用開始。
昭和46年	八戸港第二工業港開港となる。植物輸入特定港に指定される。
昭和48年	八戸～苫小牧間カーフェリー就航。
昭和51年	臨港道路 八戸大橋一部開通(昭和55年全面開通)
昭和52年	第二工業港五万トンE岸壁供用開始。
	臨港道路 八太郎大橋一部開通(昭和55年全面開通)
昭和54年	八戸～室蘭間カーフェリー就航。
昭和56年	フェリー専用五千トン岸壁完成。
昭和60年	第二工業港の五万トンD岸壁供用開始。
昭和63年	八戸港ポートアイランド事業計画認可。
平成 3 年	八太郎2号ふ頭五千トン岸壁4バース供用開始。
平成 5 年	動物検査港に指定される。
	外国航路船、入港1万隻達成。
平成 6 年	ガントリークレーン、コンテナヤードを整備。
	東南アジアコンテナ定期航路開設。
平成 7 年	河原木1号ふ頭(ポートアイランド)第一期工事完成。
	TSL寄港、高速荷役実験成功。
平成 8 年	FAZ=フォーリン・アクセスゾーンに指定される。
	河原木2号ふ頭5万トンA岸壁供用開始。
平成 9 年	中国コンテナ定期航路開設。河原木1号ふ頭(ポートアイランド)、八戸シーガルブリッジ供用開始。5千トン岸壁(3バース)、2千トン岸壁(2バース)供用開始。
	河原木2号ふ頭1千トン岸壁供用開始。
平成10年	中国、韓国コンテナ定期航路開設。
	北米コンテナ定期航路開設。
平成11年	八戸市市制70周年。
	八太郎地区北防波堤完成。
	内航フィーダー定期航路開設。
平成13年	八戸港多目的国際物流ターミナル完成(八太郎2号ふ頭コンテナヤード)
	八戸港八太郎2号ふ頭保税地域に指定される。
平成15年	総合静脈物流拠点港(リサイクルポート)に指定される。
平成18年	白銀地区にポートパーク供用開始。
平成22年	青森港とともに「重点港湾」に選定される。
平成23年	東北地方太平洋沖地震及び津波により、甚大な被害を受ける。
平成25年	7月25日に八戸港災害復旧事業が完了する。
平成27年	液化天然ガス(LNG)輸入基地「八戸LNGターミナル」(タンク2基)が操業。
平成29年	フェリー専用岸壁(第2バース)供用開始。
平成30年	コンテナヤード拡張工事完成。

港 湾 施 設

1. 荷さばき施設

上 屋

名 称	所 在 心 頭 名 称	管 理 者	種 類	棟 数	総床面積	構 造 様 式		主要取扱貨物の種類	摘 要
						主 要 用 材	階		
県 営 上 屋	八戸市築港街第一埠頭1-2	白 銀 心 頭	青 森 県	営 業 用	1	3,600m ²	鉄 骨	1	雑 貨
八戸港くん蒸上屋	八戸市大字河原木字海岸17-12	八 太 郎 2 号 心 頭	〃	〃	1	345.8m ²	〃	1	青 果 物

2. 荷役機械

名 称	所 在 地	管 理 者	形 式	ま ぎ 上 重 量	摘 要
ガントリークレーン1号機 八太郎2号心頭-13m J岸壁	八戸市大字河原木字海岸	青 森 県	橋 形 ク レ ー ン	定格荷重30.5t(コンテナ)	平成25年11月設置
ガントリークレーン2号機 八太郎2号心頭-13m J岸壁	〃	〃	〃	〃	平成13年3月設置

3. 港湾管理施設

名 称	所 在 心 頭 名 称	管 理 者	種 類	棟 数	総床面積	構 造 様 式		施 設 内 容	摘 要
						主 要 用 材	階		
管 理 棟	八戸市大字河原木字海岸	八 太 郎 2 号 心 頭	青 森 県	営 業 用	1	331.61m ²	鉄 骨	2	国際物流ターミナル施設
受 変 電 棟	〃	〃	〃	〃	1	160.08m ²	〃	1	〃
検 査 棟	〃	〃	〃	〃	1	240.00m ²	〃	1	〃

4. 保管施設

野 積 場

地 区 名	管 理 者	総 面 積	主 なる 用 途	摘 要
八 太 郎 地 区	青 森 県	78,785.70m ²	鉄 鋼 ・ 鉱 石	八太郎資材積出岸壁、1号・2号・A・B・C岸壁
八太郎1号心頭	〃	98,052.76m ²	鉱 石 ・ 原 木 ・ 石 炭	八太郎D・E・F・G・3号岸壁
八太郎2号心頭(1)	〃	55,053.00m ²	鋼 材 ・ 肥 料 ・ 飼 料	八太郎H・I・L・M岸壁
八太郎2号心頭(2)	〃	41,515.66m ²	コンテナ貨物・パルプ製材	八太郎J岸壁
八太郎3号心頭	〃	13,658.00m ²	雑 貨 ・ 鋼 材	八太郎N岸壁
八太郎4号心頭	〃	35,130.00m ²	車 両 等	八太郎P岸壁
河原木地区(沼館)	〃	17,818.00m ²	鉄 鋼 ・ 雑 貨	河原木1号・2号岸壁
白 銀 地 区	〃	58,605.00m ²	セ メ ン ト ・ 水 産 品	白銀A・B・C・2号・3号・4号岸壁
河原木1号心頭	〃	68,370.00m ²	雑 貨 ・ 鋼 材	河原木B・C・D・F・G岸壁
河原木2号心頭	〃	78,796.00m ²	ニ ッ ケ ル 鉱	河原木A・E岸壁

5. 航 路 等

名 称	幅	延 長	水 深
東 航 路	220m	500m	- 6.0m
西 航 路	140m	400m	- 6.5m
河 原 木 第 一 工 業 港 航 路	100m	3,280m	- 6.5m
八 太 郎 -13.0m 航 路	200~250m	2,540m	-13.0m

6. 泊 地

名 称	数 量 (水深)	位 置
(大型船舶泊地)被覆内泊地	2,224,660m ² (-4.5m以上)	北防波堤・西防波堤・河口防波堤
小 型 船 舶 泊 地 (港湾)	157,000m ² (-2.5~-3.5m)	市川・八太郎・白銀船溜
小 型 船 舶 泊 地 (漁港)	372,825m ² (-2.0~-3.0m)	小中野・館鼻・鮫・恵比寿浜船溜

7. 航 路 標 識

名 称	光 度	灯 質 及 び 周 期	光 達 距 離 (海里)
鮫 角 灯 台	実効光度 10万カンデラ	単閃白光 毎8秒に1閃光	19.5
八戸港八太郎北防波堤灯台	実効光度 78カンデラ	群閃赤光 毎9秒に2閃光	5.0
八戸港八太郎東防波堤灯台	実効光度 68カンデラ	群閃緑光 毎9秒に2閃光	4.5
八戸港河原木西防波堤灯台	実効光度 25カンデラ	単閃赤光 毎3秒に1閃光	3.5
八戸港白銀西防波堤西灯台	実効光度 68カンデラ	単閃緑光 毎5秒に1閃光	4.5
八戸港河原木南防波堤東灯台	実効光度 78カンデラ	単閃赤光 毎5秒に1閃光	5.0
八戸港白銀北防波堤灯台	実効光度 78カンデラ	単閃緑光 毎3秒に1閃光	5.0
八戸港白銀西防波堤東灯台	実効光度 76カンデラ	単閃赤光 毎3秒に1閃光	4.5
八戸港鮫内防波堤三号灯台	実効光度 26カンデラ	群閃赤光 毎6秒に2閃光	3.5
八戸港蕪島防波堤灯台	実効光度 19カンデラ	単閃緑光 毎6秒に1閃光	3.0
八戸尾崎日出岩照射灯	210万カンデラ	-	-
八戸港外港中央防波堤北灯台	実効光度 270カンデラ	群閃緑光 毎6秒に2閃光	6.5
八戸大橋橋梁灯(CI灯)	実効光度 150カンデラ	不動白光	6.0
八戸シーガルブリッジ	220カンデラ	等明暗白光 明2秒暗2秒	6.5
八戸港河原木2号心頭指示標識	-	-	-

港 湾 施 設 使 用 料

区 分	内 容	料 金
岸壁・棧橋及び物揚場使用料	総トン数1トンにつき (1) 係留時間12時間までの場合 外航船舶 その他の船舶	4円50銭 4円95銭
	(2) 係留時間12時間を超える場合 係留時間12時間ごとに 外航船舶 その他の船舶	3円 3円30銭
小型船舶用浮棧橋使用料	船舶の長さ1.0メートルにつき月額	1,540円
船舶保管施設使用料	船舶の長さ1.0メートルにつき月額	1,417円
上屋使用料	1日1平方メートルにつき ただし、くん蒸上屋については、1室につき使用1回ごとに	18円70銭 49,500円
管理棟使用料	月額1平方メートルにつき	1,323円
野積場使用料	1日1平方メートルにつき イ、舗装野積場 ロ、未舗装野積場	4円60銭 2円84銭
コンテナ専用野積場使用料	イ、冷凍コンテナ用電気供給施設を使用しない場合 1日1平方メートルにつき ロ、冷凍コンテナ用電気供給施設を使用する場合 イに定める額に、使用するコンセント1口につき1時間までごとに	4円75銭 147円を加算した額
船舶給水料	1立方メートルにつき 外航船舶 その他の船舶	410円 451円
	備考：執務時間外の給水の場合は、上記料金の3割増(深夜の給水の場合は5割増)とする。	
港湾施設用地使用料	次の区分に応じ、それぞれ次に定める額(使用の期間が1月に満たない場合は、その額に100分の110を乗じて得た額) イ、工作物を設置する場合(ハ、二の場合を除く。) 年額 ロ、工作物を設置しない場合 1日1平方メートルにつき ハ、電気通信事業法施行令(昭和60年政令第75号)別表第1の2に掲げる設備(同表の2に掲げるその他の設備を除く。)を設置する場合(二に掲げる場合を除く。) 年額 ニ、水道管・ガス管等を設置する場合 年額1メートルにつき	近傍類地の時価の100分の4に相当する額 2円60銭 同表の2に規定するそれぞれの額 99円
	ただし、臨港道路の敷地については、年額1メートルにつき、次に掲げる外径の区分に応じ、それぞれ次に定める額とする。 イ) 0.07m未満 19円 ロ) 0.07m以上0.10m未満 27円 ハ) 0.10m以上0.15m未満 41円 ニ) 0.15m以上0.20m未満 55円 ホ) 0.20m以上0.30m未満 82円 ヘ) 0.30m以上0.40m未満 110円 ト) 0.40m以上0.70m未満 190円 チ) 0.70m以上1.00m未満 270円 リ) 1.00m以上 550円	
荷役機械使用料	橋形クレーン 1台につき作業時間30分までごとに	33,550円
入港料	入港1回につき総トン数1トンにつき(700トン以上) 外航船舶 その他の船舶	2円 1円10銭
船揚場	八戸港の上架設備を使用する場合 船舶一隻につき	161,700円



1. 入港船舶数

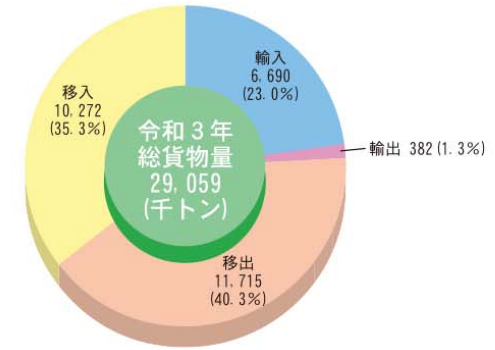
区分	外航船		内航船(うちフェリー)		計	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
平成28年	452	7,619,582	20,239 (1,414)	19,383,439 (11,868,009)	20,691	27,003,021
平成29年	442	7,727,663	19,674 (1,406)	19,424,492 (11,801,451)	20,116	27,152,155
平成30年	496	8,463,057	17,740 (1,605)	21,748,476 (13,657,162)	18,236	30,211,533
令和元年	523	8,911,310	16,474 (1,746)	22,907,860 (14,777,039)	16,997	31,819,170
令和2年	478	7,727,273	12,231 (1,740)	22,178,210 (14,764,559)	12,709	29,905,483
令和3年	464	8,006,276	8,516 (1,740)	23,520,025 (14,764,559)	8,980	31,526,301

2. 取扱貨物量

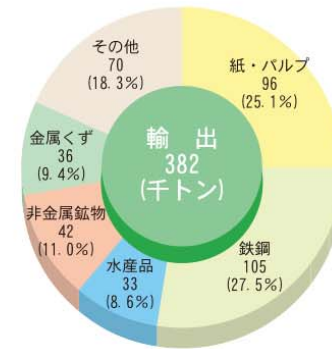
区分	外航船		内航船(うちフェリーによる車両)		計
	輸出	輸入	移出	移入	
平成28年	370,653	6,918,129	10,792,466 (6,395,430)	9,888,613 (5,938,190)	27,969,861 (12,333,620)
平成29年	347,453	7,101,410	10,771,682 (6,487,365)	9,948,555 (5,970,425)	28,169,100 (12,457,790)
平成30年	459,053	7,968,198	11,377,504 (6,904,730)	10,289,338 (6,246,100)	30,094,093 (13,150,830)
令和元年	499,090	7,785,958	11,282,793 (6,915,640)	10,204,888 (6,349,465)	29,772,729 (13,265,105)
令和2年	455,379	6,144,037	10,461,834 (6,908,860)	9,637,445 (6,024,310)	26,698,695 (12,933,170)
令和3年	381,835	6,689,885	11,715,307 (7,471,895)	10,272,498 (6,692,730)	29,059,525 (14,164,625)

3. 輸移出入構成

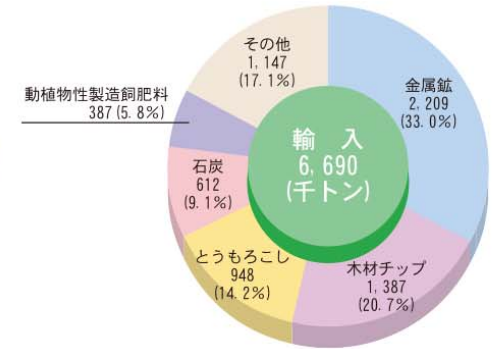
(ア) 全体



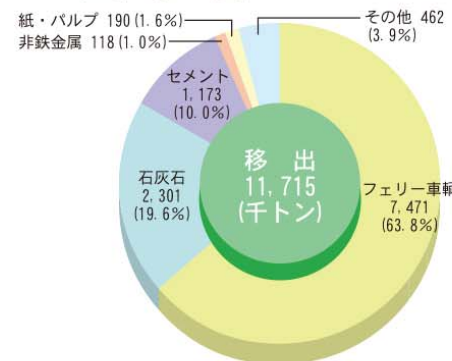
(イ) 輸出



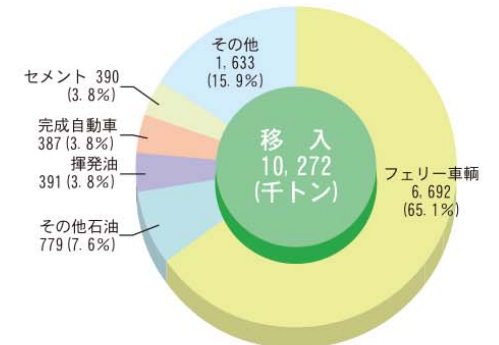
(ウ) 輸入



(エ) 移出



(オ) 移入



八戸港多目的国際物流ターミナル施設 (平成30年9月完成)



八太郎2号埠頭



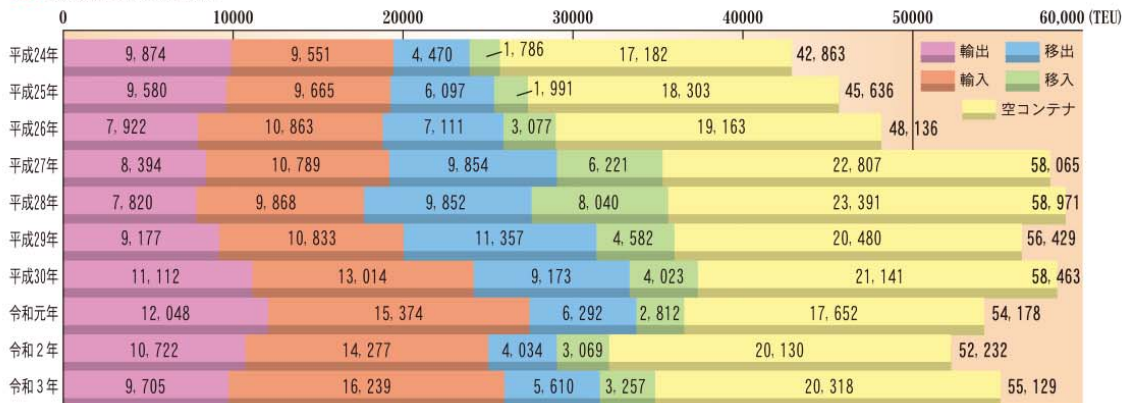
橋型クレーン

コンテナ貨物

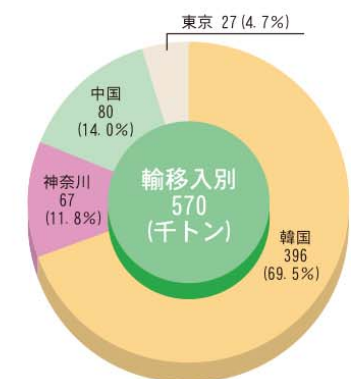
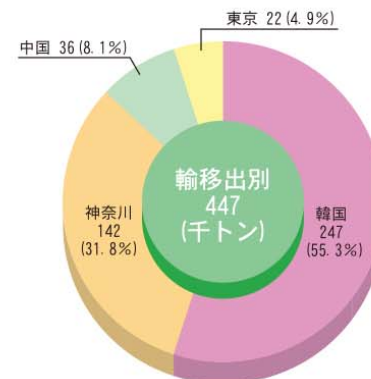
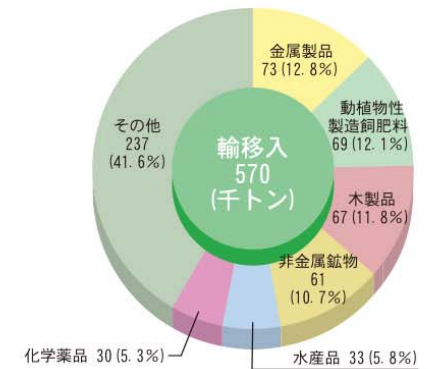
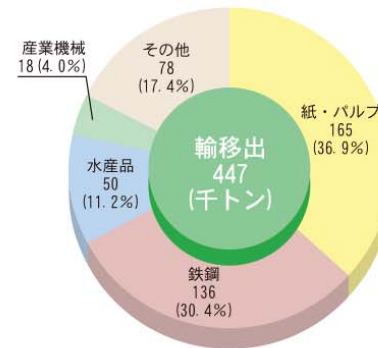
●コンテナ航路

コンテナ航路	船社名	開設年月	寄港間隔	主な寄港地
外航	中国・韓国航路 南星海運 (株) 高麗海運 (株)	1998年8月 南星海運 2018年11月 高麗海運	週2便 (月、土)	《寄港地》韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、天津新港、大連、青島、寧波) 《接続地》中国、ベトナム、欧州、北米、南米、豪州他
	韓国航路 長錦商船 (株) 興亜ライン (株)	2015年10月	週2便 (火、土)	《寄港地》韓国(釜山、釜山新港)
	北米航路 WSL (Westwood Shipping Lines)	1998年10月	—	《寄港地》アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)、釜山
内航	(株)横浜コンテナライン	1999年9月	週1便 (金)	《寄港地》横浜 《接続地》世界各港
	井本商運 (株)	2006年3月	週1便 (土)	《寄港地》東京・横浜 《接続地》世界各港
	鈴与海運 (株)	2008年12月	週1便 (火)	《寄港地》東京・横浜 《接続地》世界各港

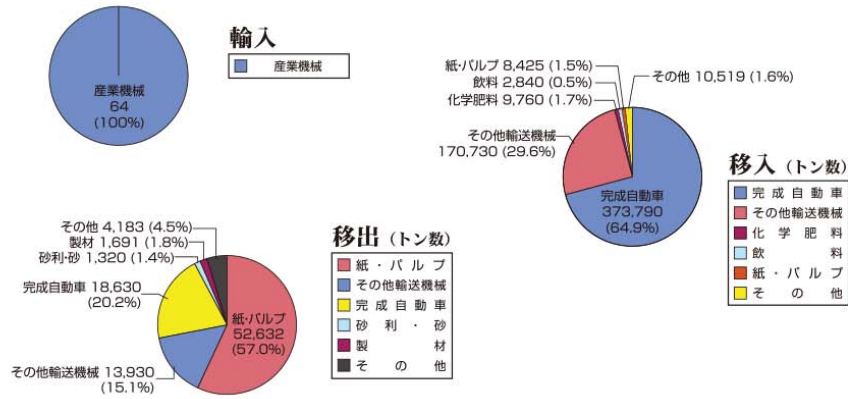
●取扱量の推移



●貨物輸移出入相手国別構成



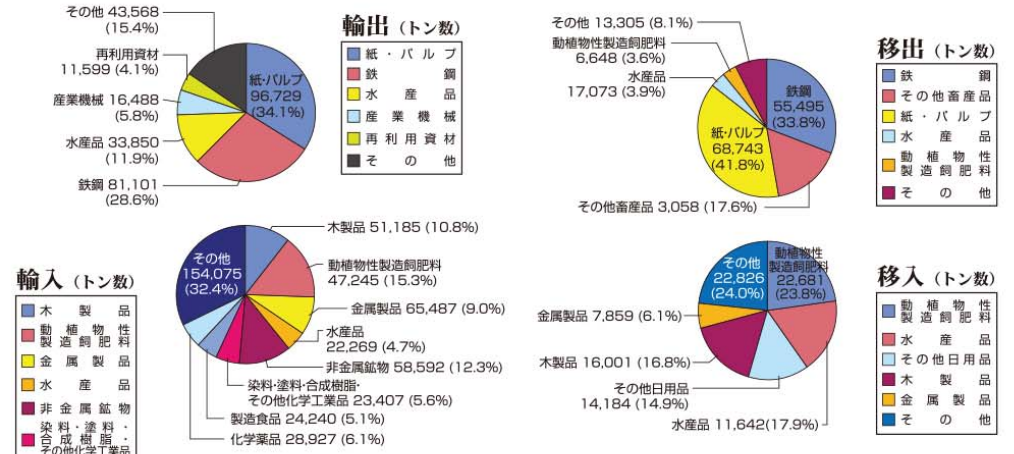
八太郎P岸壁



取扱量上位4箇所

国・県	輸 出	輸 入	移 出	移 入	合 計
愛 知	0	0	34,051	392,534	426,585
神 奈 川	0	0	29,413	114,994	144,407
東 京	0	0	27,886	15,401	43,287
北 海 道	0	0	1,036	51,735	52,771

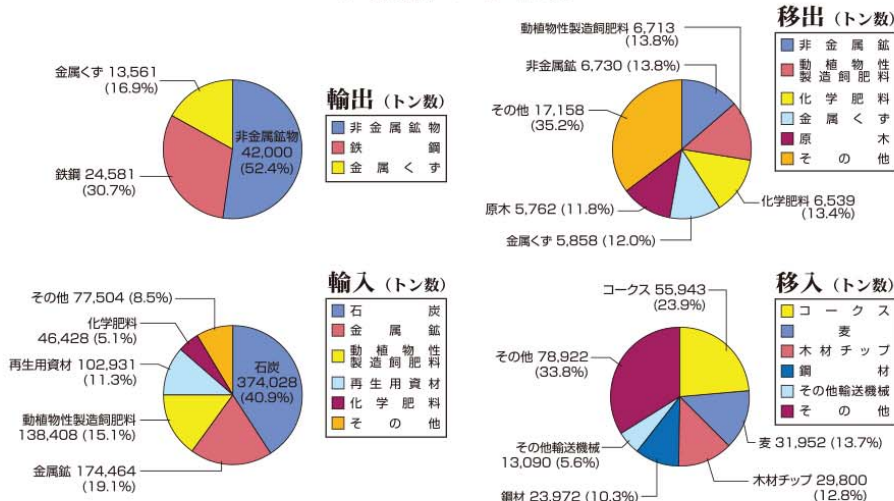
八太郎J岸壁



取扱量上位4箇所

国・県	輸 出	輸 入	移 出	移 入	合 計
韓 国	247,471	396,118	0	0	643,589
神 奈 川	0	0	141,956	66,291	208,247
中 国	35,864	79,309	0	0	115,173
東 京	0	0	22,158	26,244	48,402

八太郎1号埠頭



取扱量上位4箇所

国	輸 出	輸 入	移 出	移 入	合 計
ロ シ ア	0	296,213	0	0	296,213
オーストラリア	0	230,305	0	0	230,305
ア メ リ カ	0	106,248	0	0	106,248
マ レ ー シ ア	0	104,262	0	0	104,262

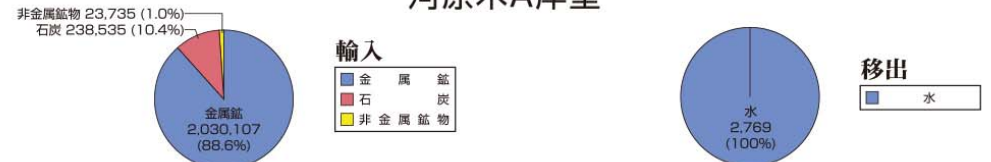
白銀B岸壁



取扱量上位3箇所

国・県	輸 出	輸 入	移 出	移 入	合 計
茨 城	0	0	0	112,465	112,465
北 海 道	0	0	0	37,928	37,928
岩 手	0	0	0	20,078	20,078

河原木A岸壁



取扱量上位3箇所

国	輸 出	輸 入	移 出	移 入	合 計
フィリピン	0	1,296,465	0	0	1,296,465
ニューカレドニア	0	733,642	0	0	733,642
オーストラリア	0	238,535	0	0	238,535